

独立行政法人 労働者健康福祉機構

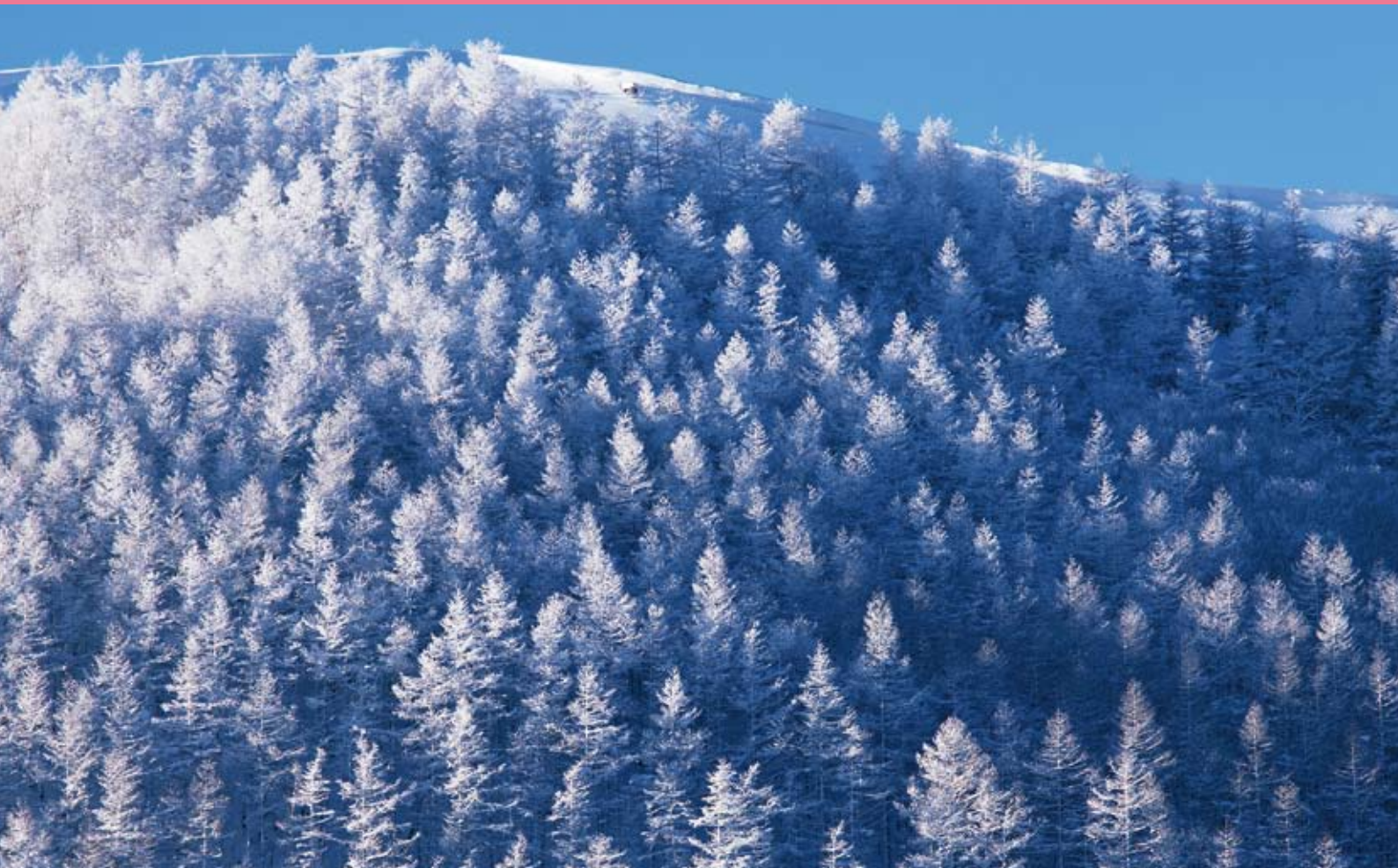


秋田労災病院

～地域医療連携室だより～

Vol. **25**

2016.2 発行



地域医療連携室のご案内

当院では、紹介患者の受付と院内各部署との連絡調整、他の医療機関との連絡と情報交換などを中心に、病診・病病連携の充実をはかっております。中でも、紹介元医療機関から予め患者情報を入手し、受診すべき診療科・医師とスケジュール調整をする紹介システムを導入しております。

もくじ

- 人生80年時代の「五十肩」 リハビリテーション科部長 関 展寿—2
- 骨粗鬆症&骨密度測定装置(DEXA法)の更新のお知らせ 中央放射線部部長 岩本芳子—3
- 外来診療のご案内 —————4

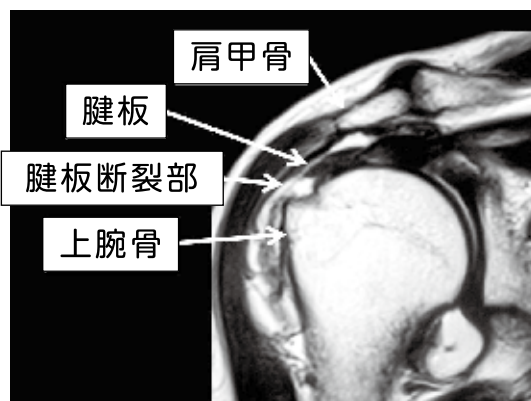
人生80年時代の「五十肩」

リハビリテーション科 部長 関 展 寿

「五十肩」は誘因なく肩関節部の疼痛と運動制限を来す疾患で、病名だけで中高年の患者さんに納得してもらえる症候群です。加齢による腱の変性や血行障害が引き金となり肩関節の滑膜に炎症性変化が起きることが病因と考えられており、糖尿病・甲状腺疾患・自己免疫疾患との関連も指摘されています。

古くは江戸時代(1797年)に執筆された「俚諺集覧」に「凡、人五十歳ばかりの時、手腕骨節痛むことあり、程過ぐれば薬せずして愈るものなり、俗にこれを五十腕とも五十肩ともいふ。又長命病といふ」と記載されています。「人間五十年」と舞ったのは織田信長ですが、厚生労働省から出された平成25年簡易生命表によると五十歳での平均余命は男性で31.92年、女性で37.74年あり、平成の時代に長命病という呼称はふさわしくありません。また、「程過ぐれば薬せずして愈る」という記載も、発症後平均4.4年で41%の症例に何らかの症状が続いていた(Hand, 2007)、や平均7年後にも50%に何らかの疼痛や可動域制限が残存していた(Shaffer, 1992)という報告があり、一般のイメージよりも治癒までに長期間を要し後遺症が残る可能性のある疾患です。

とはいえ五十肩の初期治療は投薬・注射・リハビリなどの保存治療にあります。肩は左右ありますから健側の upper limb を使って生活していくうちに、愁訴はあるものの余り困らない程度に改善する 경우가ほとんどです。しかし数ヶ月の保存治療でも改善しない場合や強い夜間痛がある場合は肩のスジが切れている腱板断裂の可能性があります。腱板断裂はX線画像で異常がないことが多く診断にはMRIが必須です。腱板は上腕骨と肩甲骨に挟まれているので靴下に例えられ、靴と足に挟まれた靴下がすり減るように穴が空いていきます。靴下の穴は閉じたくするのが外科医ですが、断裂が小さければ縫合しても目立たない(関節鏡視下修復術)のに対し、断裂が大きくなると縫合部が目立つ(直視下手術)ようになり、さらに大きい断裂であれば継ぎはぎ(大腿筋膜移植術)が必要になります。実際、断裂が小さいうちに手術をすると傷が小さく筋肉のダメージが少ないので、痛みが少なく機能回復が早く進みます。また、腱板断裂のない五十肩でも関節鏡でクリーニング手術をすることで可動域や痛みの改善を得ることが出来ます。当院は県北地区で数少ない、肩関節鏡視下腱板修復術の出来る医師が常勤している病院で、五十肩や腱板断裂の治療に積極的に取り組んでおります。もし肩痛でお悩みの患者さんがいた場合は御相談頂ければ幸いです。



腱板のMRI T2強調画像。
腱板(黒い部分)は肩甲骨と上腕骨に挟まれている。
腱板断裂部は白い欠損として描出される。

骨粗鬆症&骨密度測定装置(DEXA法)の更新のお知らせ

～平成27年3月に骨密度測定装置を更新しました～

中央放射線部 部長 岩本 芳子

■ 骨粗鬆症 ■

骨粗鬆症は全身的に骨折のリスクが増大した状態である。

WHO(世界保健機関)の定義では、骨粗鬆症は、低骨量と骨組織の微細構造の異常を特徴とし、骨の脆弱性が増大し、骨折の危険性が増大する疾患である：としている。

WHOの定義は、疾患としての骨粗鬆症とは骨折を生じるにいたる病的過程であることを明言し、骨折は骨粗鬆症の結果として生じる合併症の一つであるとした。

診断手順

骨粗鬆症の診断は、腰背痛などの有症者、検診での要精検者などを対象に原発性骨粗鬆症の診断手順に従って①医療面接(病歴の聴取)、②身体診察、③画像診断、④血液・尿検査(骨代謝マーカーの測定を含む)を行い、⑤骨評価(骨密度測定及び脊椎エックス線撮影)後、⑥鑑別診断、⑦原発性骨粗鬆症の診断基準を適用して確定しています。

診断基準

- ①WHOの骨密度による診断カテゴリー(Tスコアでの分類)
 - 1) 正常 2) 低骨量状態 3) 骨粗鬆症 4) 重症骨粗鬆症
- ②日本の場合(2012年改訂版)、以下の2つのカテゴリーをもとに既存骨折種により分類を追加し、骨密度測定部位を原則として腰椎又は大腿骨近位部とし骨折リスクを念頭においた基準となっています。
 - 1) 脆弱性骨折のある場合(YAM80%未満を骨粗鬆症とする)
 - 2) 脆弱性骨折のない場合(YAM70%以下又は-2.5SD以下を骨粗鬆症と判定する)

中央放射線部では、骨粗鬆症診断のために骨密度測定装置やエックス線撮影装置を用いた骨評価を実施しています。

■ 骨密度測定装置更新のお知らせ ■

当院では、旧装置の老朽化に伴い、平成27年3月にホロジック社製QDR-Discovery A型という骨密度測定装置を導入しました。これまでの装置と同様にDEXA(dual-energy X-ray absorptiometry)法を用いて骨密度測定検査を行っています。腰椎2Rの骨密度測定をルーチンとしていますが、患者様は仰臥位でベッドに寝ているだけで腰椎側面の撮影ができます。検査時間は15分程です。検査結果は、患者様にお渡ししています。

また、新装置では、全身の測定(体組成ほか)も可能になりました。脂肪のインデックスによりリポジストロフィー(脂肪異常栄養症)の指標やサルコペニアの診断に使用されるSMI(骨格筋指数)基準値も測定できます。(四肢の除脂肪量の合計を身長(m)の2乗で除した値を指標とする)ちなみに、日本人のデータは、男性6.87kg/m² 女性5.46kg/m²となります。



ホロジック社製QDR-Discovery A型



尚、当院では、骨粗鬆症に対して薬や注射による薬物治療を行っておりますので整形外科にご相談ください。

秋田労災病院外来診療のご案内

平成28年2月1日現在

受付時間	初診 8:15～11:00			再診 8:15～11:30	
曜日	月	火	水	木	金
診療科					
内科 [予約制]	佐々木	佐々木 熊谷	佐々木 熊谷	佐々木 熊谷	熊谷 秋田大学[～12時]
糖尿病・代謝内科 [予約制]	八代	八代	休診	八代	八代
内科(循環器) [予約制]	休診	休診	休診	診療応援医師	休診
呼吸器・アレルギー外来 [予約制]	診療応援医師	休診	診療応援医師	休診	休診
消化器科 [内視鏡検査予約制]	診療応援医師	休診	診療応援医師	休診	休診
総合診療・ 検査診断科	休診	秋田大学 [診療日は要確認]	休診	休診	休診
外科	阿部	阿部	塚本	阿部	塚本
皮膚科	休診	弘前大学	休診	休診	弘前大学
整形外科	千葉 奥山 [～10時] 木戸 関 佐々木 [10時～12時]	奥山 佐々木 (秋田大学)	木戸 佐藤 (秋田大学)	関 加茂 (秋田大学)	千葉 奥山 木戸 関 [～10時] 加茂 [10時～12時]
スポーツ外来 [予約制] [受付 14時～16時]	休診	休診	休診	休診	関
神経内科 [予約制] [受付 13時～15時]	休診	休診	休診	診療応援医師 [13時30分～]	休診
脳神経外科	神里	井上	井上	神里	秋田大学
泌尿器科	休診	弘前大学	休診	秋田大学	休診
眼科 [予約制]	休診	休診	岩手医科大学	休診	休診
耳鼻咽喉科	休診	休診	休診	秋田大学[～12時]	休診
歯科口腔外科	大淵	大淵	大淵	大淵	秋田大学

◎ 診療日等、都合により変更する場合があります。

※ 整形外科千葉副院長の診療は不定期になる場合があります。あらかじめご了承ください。

～秋田労災病院の理念～

当院は、勤労者や地域の人々の健康増進と疾病の予防・治療に取り組み、患者様の人権を尊重し、あたたかく、思いやりのある安全な医療を提供します。

『治療就労両立支援部』とは…

当院では脳卒中の**治療・リハビリ**と就労（職場復帰）の両側面から患者様を支援させていただきまます。患者様のサポートは、**復職コーディネーター**が中心となって医師・看護師・リハビリスタッフ等で構成された**両立支援チーム**が協働で関わっていく部署です。

お問い合わせ先

独立行政法人労働者健康福祉機構

秋田労災病院 地域医療連携室

〒018-5604 秋田県大館市軽井沢字下岱30

TEL 0186(52)3131(内線2782) / FAX 0186(47)7611

診療科目

内科、糖尿病・代謝内科、消化器科、総合診療・検査診断科、外科、整形外科、神経内科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、眼科、耳鼻咽喉科、歯科口腔外科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、健康診断部、勤労者脊椎・腰痛センター、治療就労両立支援部

当院HP <http://www.akitah.rofuku.go.jp>

当院facebook <https://www.facebook.com/AkitaRosai>